

INFOPRO 2015

第12回情報プロフェッショナル シンポジウム

会期 2015年12月10日(木)～ 11日(金)

会場 科学技術振興機構 東京本部

(東京都千代田区四番町5-3)

URL <http://www.jst.go.jp/koutsu.html#TOKYO>

交通案内

- ・東京メトロ有楽町線「麴町駅」(6番口)より 徒歩5分
- ・JR「市ヶ谷駅」より 徒歩10分
- ・都営新宿線、東京メトロ南北線・有楽町線
「市ヶ谷駅」(A3番口)より 徒歩10分
- ・東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」(5番口)より 徒歩10分

主催 国立研究開発法人 科学技術振興機構

Japan Science and Technology Agency (JST)

一般社団法人 情報科学技術協会

Information Science and Technology Association (INFOSTA)

後援 国立国会図書館

専門図書館協議会

特定非営利活動法人 日本医学図書館協会

一般財団法人 日本情報経済社会推進協会

公益社団法人 日本図書館協会

INFOPRO2015 タイムテーブル

日	時間	セッション	A会場 (B1大会議室)	セッション	B会場 (住宅棟1階会議室)	セッション	C会場 (4階会議室)		
12/10 (木)	13:20-14:20	3i研究会	A11	XML	B11	引用	C11		
			A12		B12		C12		
			A13	図書館	B21	教育利用	C21		
12/11 (金)	13:00-13:30	ポスターセッション	B31	B32	B33	B34	B35		
			B41	B42	B43	B44	B45		
			B51	B52	B53	B54	B55		
12/11 (金)	10:00-12:00	特別講演「ウェブ世論と著作権の新たなリスク」 福井 健策 氏(弁護士・骨董通り法律事務所代表パートナー)	情報交流会 (食堂)					プロダクト・レビューC1	
			情報交流会 (食堂)					プロダクト・レビューC2	
			情報交流会 (食堂)					プロダクト・レビューC2	
12/11 (金)	13:00-13:30	ポスターセッション	B31	B32	B33	B34	B35		
			B41	B42	B43	B44	B45		
			B51	B52	B53	B54	B55		
12/11 (金)	13:40-15:10	特許分析 (1)	A21	知識ベース	B31	非欧米特許 (1)	C31		
			A22		B32		C32		
			A23		B33		C33		
12/11 (金)	15:20-16:50	特許分析 (2)	A31	アーカイブ	B41	非欧米特許 (2)	C41		
			A32		B42		C42		
			A33		B43		C43		

第1日目 12月10日(木)

A会場 B1大会議室

○は会場発表者、敬称略

13:20~15:30 セッションA1 3i研究会

演題A11 良い会社とは

ー そして目指す企業への成功因子 ー

住ベリサーチ株式会社
株式会社日本能率協会総合研究所
日本化薬株式会社
国立研究開発法人科学技術振興機構
OKA情報技術コンサルティング
中央光学出版株式会社
パナソニックIPマネジメント株式会社

○屋ヶ田和彦
小山由美子
土田 哲平
野口 尚志
岡 紀子
塚原 徹也
三上 正士

演題A12 企業における経営課題の解決施策提案

ー ドラッグストアチェーンを事例として ー

綜研化学株式会社
株式会社日本能率協会総合研究所
東レ株式会社
筑波大学大学院
旭化成株式会社
国立研究開発法人科学技術振興機構
ダイキン工業株式会社
株式会社ジー・サーチ

○井脇 俊
宮城島匡章
山根 深一
小泉 真理
原田 雅子
米陀 正英
高野奈菜子
今野奈津子

演題A13 新事業創出のための3つの情報分析アプローチ

ー 空気清浄機を事例として ー

東洋製罐グループホールディングス株式会社
株式会社日本能率協会総合研究所
国立研究開発法人科学技術振興機構
住商ファーマインターナショナル株式会社
昭和産業株式会社
TOTO株式会社

○岡本 耕太
清水 裕史
津田 英隆
仲 美津子
伏見 祥
堀口 泰

15:30~16:00 ポスターセッション

16:15~16:20 特別講演講師紹介

16:20~17:50 特別講演

ウェブ世論と著作権の新たなリスク

講師: 福井健策氏 弁護士・骨董通り法律事務所代表パートナー

18:15~20:00 情報交流会

会場: 地下1階 食堂

B会場 住宅棟1階会議室

○は会場発表者、敬称略

13:20~14:20 セッションB1 XML

- 演題B11** RSS feed combiner toolsを用いた主題サイトの構築
 - 新たな最新情報の選択的収集・提供サービスの実現を目指して -
 宮城学院女子大学 桂 啓壯
- 演題B12** Book Interchange Tag Suite (BITS) の日本語対応
 - 学術情報XML推進協議会JATS規格検討分科会の検討 -
 東京大学 ○時実 象一
 NPO医学中央雑誌刊行会 黒沢 俊典
 医書ジェーピー株式会社 山田 島誠
 国立研究開発法人科学技術振興機構 宮川 謹至、亀井 威則
 小宮山印刷工業株式会社 星 正道
 中西印刷株式会社 中西 秀彦、楠 健一
 一般社団法人日本消化器外科学会 武部 竜一
 レタープレス株式会社 中原 康介

14:30~15:30 セッションB2 図書館

- 演題B21** 情報学・図書館学分野の学生の国際交流による教育の質的向上
 鶴見大学文学部 長塚 隆
- 演題B22** 病院患者図書室とエンベディッド・ライブラリアン
 - 市民の健康情報リテラシー向上のために -
 司書・ヘルスサイエンス情報専門員(上級) 佐藤正恵

15:30~16:00 プロダクト・レビューB1

C会場 4階会議室

○は会場発表者、敬称略

13:20~14:20 セッションC1 引用

- 演題C11** 引用評価の信頼性
 - 化学雑誌のアンケート調査 -
 仲本秀四郎
- 演題C12** 精度を重視した効率的な特許調査方法
 - 引用情報と公報の類似度に着目した特許調査方法 -
 花王株式会社 ○安藤 俊幸
 JFEテクノリサーチ株式会社 平川 雅彦

14:30~15:30 セッションC2 教育利用

- 演題C21** デジタル教科書導入時における問題と対策
 - 看護師養成課程および栄養士養成課程を対象として -
 ユマニテック看護助産専門学校 ○田中 雅章
 仙台白百合女子大学 神田あづさ
 名古屋文理大学短期大学部 内田 あや
 産業技術大学院大学 松尾 徳朗
- 演題C22** 教育用コンテンツへの永続的識別子 "DOI"の登録
 - 共有・流通促進、再利用可能性向上への挑戦 -
 国立研究開発法人科学技術振興機構 余頃 祐介

15:30~16:00 プロダクト・レビューC1

10:00~12:00 トーク&トーク

ビッグデータの拡がりとインフォプロ向け活用の実際

13:00~13:30 ポスターセッション

13:40~15:10 セッションA2 特許分析2

演題A21 テキストマイニングによる公報間類似度マップの検討
アジア特許情報研究会
花王株式会社
○高岡 恵理
安藤 俊幸

演題A22 4つの観点からの特許情報分析手法の研究
- Boolean検索、テキストマイニング検索、俯瞰可視化NWA及び引用被引用NWAの複合検索 -
はやぶさ国際特許事務所
一般財団法人日本特許情報機構
TANAKAホールディングス株式会社
銀龍専利東京事務所
○桐山 勉、川島 順
藤城 享
栗原 健一
長谷川正好
渡邊 彩

演題A23 自動ブレーキの国内と中国の動向
- 特許情報を用いたテキストマイニングによる動向解析の紹介 -
JFEテクノリサーチ株式会社
花王株式会社
○平川 雅彦
安藤 俊幸

15:20~16:50 セッションA3 特許分析3

演題A31 中国特許出願動向分析
- 中国語テキストマイニングを用いた原文分析 -
松下電器研究開発(蘇州)有限公司
花王株式会社
○袁 方、小林 義典
安藤 俊幸

演題A32 多品種コモディティに対する寡占企業の対応策
- 使い捨ておむつに関する調査 -
三井製糖株式会社
カシオ計算機株式会社
三菱鉛筆株式会社
株式会社レイテック
帝人株式会社
○永井 幸枝
佐藤 芳広
小林 久恵
佐々木眞悟
佐藤 貢司

演題A33 香り・におい市場に革命を起こした日用品ガリバーの戦略と競合企業の戦略を読み解く
- 消臭技術の今後の行く末は? -
日清フーズ株式会社
本田技研工業株式会社
三菱ガス化学株式会社
キリン株式会社
○高橋 匡
倉持 俊克
安田麻衣子
下田 直嗣
平尾 啓

B会場 住宅棟1階会議室

○は会場発表者、敬称略

10:00

↓

トーク&トーク「ビッグデータの拡がりとインフォプロ向け活用の実際」(A会場)

12:00

13:00~13:30 プロダクト・レビューB2

13:40~15:10 セッションB3 知識ベース

演題B31 公共情報の公開と利用

- オープンデータ推進による公共情報の再発見 -

島根大学

○本田 正美

演題B32 J-GLOBAL knowledge

- JST情報資産のRDF化および分析基盤の構築 -

科学技術振興機構情報企画部情報分析室

○渡邊勝太郎、木村 考宏、川村 隆浩

科学技術振興機構ハイサイエンスデータベースセンター

松本 尚也、佐藤 智宣
榎田 達矢、松邑 勝治**演題B33 行政文書を対象としたトピック変遷の分析**

- 科学技術白書の時系列分析 -

文部科学省科学技術・学術政策研究所

○小柴 等、林 和弘

15:20~16:50 セッションB4 アーカイブ

演題B41 公共図書館のデジタル・アーカイブの現状と課題

東京大学

○時実 象一

愛知大学

神谷 枝里

演題B42 デジタル映画の保存と活用に関する現状と課題

東京国立近代美術館フィルムセンター

○三浦 和己、佐崎 順昭、中西 智範

松山ひとみ、大関 勝久

演題B43 東京電力福島第一発電所事故関連情報アーカイブ化への取り組みと今後の展開

日本原子力研究開発機構

○早川 美彩、米澤 稔、峯尾 幸信

国井 克彦、長屋 俊

10:00



トーク&トーク「ビッグデータの拡がりとインフォプロ向け活用の実際」(A会場)

12:00

13:00~13:30 プロダクト・レビューC2

13:40~15:10 セッションC3 非欧米特許1

演題C31 韓国特許調査精度向上の検討

ー 韓国特許CPC特許分類の付与分析とその活用 ー
富士フィルム株式会社 田畑 文也

演題C32 ブラジル特許庁の審査期間とIPC付与の実態

ー 出願ならびに調査に関する留意点 ー
JFEテクノリサーチ株式会社 ○藤田 明
オリンパス株式会社 中西 昌弘

演題C33 ASEAN特許文献のテクニカルターム検証

ー タイ語、ベトナム語、インドネシア語のテクニカルターム収集による検証 ー
株式会社IHI ○佐野浩太郎
オリンパス株式会社 中西 昌弘

15:20~16:50 セッションC4 非欧米特許2

演題C41 中国・台湾特許データベース法律状態情報の活用

アジア特許情報研究会 ○伊藤 徹男
北京銀龍知識産権代理有限公司 雙田 飛鳥
維新国際専利法律事務所 黄 瑞賢

演題C42 中韓文献翻訳・検索システムの検証

株式会社IHI ○佐野浩太郎
東亜合成株式会社 前田 佳治
株式会社神戸製鋼所 石田 政司
アジア特許情報研究会 伊藤 徹男

演題C43 中韓文献翻訳・検索システム：検索漏れの低減案

ー 収録率及び翻訳不良の文法的な観点からの検証 ー
株式会社ユポ・コーポレーション ○西尾 潤
北京銀龍知識産権代理有限公司 雙田 飛鳥
株式会社神戸製鋼所 石田 政司
アジア特許情報研究会 伊藤 徹男

ポスターセッション 発表者一覧

No.	発表者氏名	所属	題目
1	増谷 拓之	マブチモーター株式会社	中国語データベースを活用した中国特許調査の実例
2	廣川佐千男	九州大学情報基盤研究開発センター	科学研究費概要にもとづく研究調査システムと調査シナリオ
3	道中 孝徳	ユーエムジー・エービーエス(株)	タイ特許調査方法の検討
4	中藤 哲也	九州大学情報基盤研究開発センター	絵で見るbibliometricsの歴史
5	中野 潤三	鈴鹿大学	モバイル端末で戦争の違法化と憲法の平和主義を学習する試み
6	古賀 崇	天理大学	政府情報のデジタル・アーカイブ
7	堀尾 尚志	神戸大学名誉教授	史料としての技術映画 －実態保存としての意義
8	矢田 俊文	トムソン・ロイター	Webを利用したユーザーコミュニケーションの試み

特別講演

ウェブ世論と著作権の新たなリスク

12月10日(木) 16:20~17:50

講師 **福井 健策氏**

弁護士・骨董通り法律事務所代表パートナー

五輪エンブレム撤回問題は社会を、とりわけプロ・クリエイター達の世界を震撼させた。疑惑への対応の悪さを指摘する意見の一方で、社会の著作権への無理解を嘆き、これでは創作が萎縮するという危惧の声も挙がる。従来は問題視されなかったレベルの過去の行為が次々発掘され、炎上しかねない時代。それは一億総発信者時代に、著作権がクリエイターの業界法から「お茶の間法」に変わる過程での必然なのか。従来の法の文脈とは全く異なる「ウェブ世論と炎上」という新たなリスクに、知財はどう対応すべきか。地図なき世界の羅針盤を探る。



【略歴】

- 1991年：東京大学法学部卒業
- 1993年：弁護士登録（第二東京弁護士会・45期）
東京永和法律事務所入所
- 1998年：米国コロンビア大学法学修士課程修了（Harlan Fiske Stone Scholar 賞、セゾン文化財団スカラシップ）
- 1998年-1999年：シンガポール国立大学（NUS）リサーチスカラー（アジア諸国の放送政策に関する助成研究）
- 1999年：内藤・清水法律事務所（現青山総合法律事務所）パートナー
- 2003年：骨董通り法律事務所を設立（現在、同代表パートナー）
- 2009年-：日本大学芸術学部客員教授を兼務
- 2011年：国立国会図書館オンライン資料の補償に関する小委員会 委員長

トーク & トーク

ビッグデータの拡がり と インフォプロ向け活用の実際

12月11日(金) 10:00~12:00 (A会場)

「ビッグデータ」という言葉が、メディアを賑わせるようになって久しい。本来の定義からみればペタバイトからエクサバイト級の非構造化データを効率よくどう処理するかがビッグデータを取り扱うこととされるが、各方面に浸透していくなかで、良くも悪くも、「今各自が扱う量より圧倒的に多量のデータ」をどう取り扱うか、という文脈をもって語られるようになっている。あるいは、データ量の大小を問わず、蓄積、処理、分析の新しい技術が常に必要であり、その解析を行う人材育成も求められる。本イベントでは、様々な観点からのビッグデータの利活用の実際を聞き、多量のデータをどう集め、どう解析し、どう生かすか、インフォプロの今後の活動に示唆を与えるものとしたい。

話題提供者

阿部 博史氏 (NHK)

1978年、愛知県生まれ。名古屋大学大学院 理学研究科 素粒子宇宙物理学専攻修了。宇宙科学研究所(現 JAXA)やインドの TATA 基礎科学研究所と共同で、天文衛星の検出器の開発や赤外線気球望遠鏡の打ち上げを行う。2004年、NHK 入局。

小澤征爾、瀬戸内寂聴、村上龍などの文化人のドキュメンタリーやヒッグス粒子、遺伝子治療など科学・医療の最前線を伝えてきた。東日本大震災発生時は「ニュースウォッチ9」のディレクターとして緊急報道を行ない、岩手県、宮城県、福島県のすべての自治体取材。「NHK スペシャル 震災ビッグデータ」や「クローズアップ現代」など東日本大震災や原発事故をテーマとする番組を制作している。2013年3月、9月、2014年3月に放送した内容をまとめた書籍「震災ビッグデータ」を2014年5月に発売。

鈴木 賢治氏 (株式会社プラスアルファ・コンサルティング)

株式会社プラスアルファ・コンサルティング 取締役副社長

テキストマイニングによる顧客の声活用を専門とし各業界で日本を代表する先進企業におけるビッグデータの全社活用プロジェクトを多数経験。

強みとする分析力を活かした新しい顧客の声活用の企画からクライアント企業内での活用の定着支援、啓もう活動まで定評がある。

ソーシャルメディア活用にも精通し、リスニングからアクティブサポートまで知見も広い。

著書に「顧客の声マネジメント」(オーム出版、共著)がある。

アンデーシュ・カールソン氏 (エルゼビア)

バイス・プレジデント アカデミック・リレーションズ 日本/アジア太平洋地区、エルゼビア

1987年 スウェーデン王立工科大学 物理専攻修士号取得 1992年 同大学 量子工学 博士号取得

NTT 物性科学基礎研究所、スタンフォード大学客員研究員、パリのポリテクニク工科大・中国の浙江大学で教鞭、スウェーデン・ストックホルムにある王立工科大学、スウェーデン大使館 科学技術参事官に就任を経て、現在に到る。2013年1月より大阪大学未来戦略機構、学長顧問
量子光学の教授就任。

2004年自身でコーディネートした IST-QuComm プロジェクトが評価され EU デカルト賞を受賞

会場 科学技術振興機構 東京本部(サイエンスプラザ)

<http://www.jst.go.jp/koutsu.html#TOKYO>

〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3

◎東京メトロ有楽町線「麴町駅」(6番口)より 徒歩5分

◎JR「市ヶ谷駅」より 徒歩10分

◎都営新宿線、東京メトロ南北線・有楽町線「市ヶ谷駅」(A3番口)より徒歩10分

◎東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」(5番口)より 徒歩10分



□参加費（予稿集代、2日間共通）

シンポジウム聴講： 一般：6,480円 学生：2,160円（消費税込み）

情報交流会：4,320円（消費税込み）

□参加申込み方法

参加申込受付フォーム (<https://form.jst.go.jp/enquetes/infopro2015/>) から
お申し込みください。

国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency
(JST)

〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3
知識基盤情報部 情報流通支援グループ
(INFOPRO2015担当)
TEL : 03-5214-7980 FAX: 03-5214-7514

一般社団法人
情報科学技術協会
Information Science and Technology Association
(INFOSTA)

〒112-0002 東京都文京区小石川2-5-7
佐佐木ビル
TEL : 03-3813-3791 FAX : 03-3813-3793
E-mail : sympo@infosta.or.jp

プログラム等は、以下のINFOSTAホームページ
<http://www.infosta.or.jp/symposium-top/>